



## 人生のターニングポイント

東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻  
菅研究室 修士2年 玉置 陽菜

私は小学1年生からそろばんを始めました。習い始めたきっかけは母の強い勧めでした。そろばんとは何かも知らないままそろばん塾に通うことになったのですが、この出会いが私の人生を大きく変えました。

まずは私がそろばん塾に通っていた頃の話です。私はそろばん塾で多くのことを学びました。そろばん塾の先生はとても厳しい方でしたが、結果よりもその努力の過程をしっかりみて評価してくださる素晴らしい先生でした。そんな先生だからこそ、信頼してついていくことができました。叱られた時も素直に受け止めることができました。そろばん塾では、数字の書き方や宿題のやり方など、計算以外のことも教わりました。特に印象に残っているのは遅刻に対する徹底した指導です。授業が始まる時間に1秒でも遅れると教室に入ることさえ許されませんでした。元気よく挨拶するなど、細かいことを挙げ始めたらきりがありませんが、そろばんを通して、私は人として必要な礼儀や作法を学びました。

私がそろばんを通じて身に付けたものの中で、その後の人生に最も影響を与えているものは、“自分で限界を決めない”という考え方です。そろばんの級が上がったり、コンクールに出場し始めたりすると、難しい問題が増えてきます。その度に、これほどの計算を成し遂げることなど果たして私に可能なのか、と途方に暮れました。それでも必死に練習を続けると、不思議とできるようになりました。このように、そろばんと向き合うなかで、一度は不可能かと思われたことが可能になったという経験を何度もしました。この経験から、今の私にとってその目標が大きすぎたとしても叶えられないと決まったわけではない、まずは努力して

みてからだ、という考え方が私の内にある人格の核に深く刻み込まれました。目の前にどれほど大きなハードルが立ちはだかったとしても、そのハードルを真に乗り越えたいと思うのであれば、私は決して逃げず、必死に一步步前へ進みます。私は幼い頃から、将来は研究者になりたいという夢を持っていました。その夢を叶えるため、これまで必死に勉強してきました。その甲斐があって、現在では東京大学にある世界でもトップレベルの研究室で創薬の研究を行っています。私は決して天才タイプではなかったため、今いる場所に辿り着くまでの道のりは極めて険しいものでした。何度も心が折れそうになりながらも、粘り強く地道に勉強を進め、ようやく将来の夢を叶える一歩手前のところまで辿り着くことができました。もしパラレルワールドが存在し、そこにそろばんを習わなかった私がいたとしたら、その私は今の私のように高みを目指して夢を実現することは確実に不可能だったと思います。それほどまでにそろばんは私の考え方や行動に深い影響を及ぼし、その出会いは私にとって大きなターニングポイントとなりました。そろばん塾をやめてもう10年以上経ちますが、私の頭の中にはいつもそろばんがあります。

今の私の夢は、科学の力をもって、世界規模での健康増進に貢献する研究者になることです。今後も、そろばんで培った“自分で限界を決めない”という精神を胸に、日々精進してまいります。

私がこのように成長できたのは、厳しくも温かくご指導くださった先生方のお陰でございます。最後に、星るみ先生をはじめ、ご指導いただいた先生方へ心より感謝申し上げます。